

4 ウイルスの環境での生存

2020年9月2日(水)配信毎日新聞社、専門誌「ランセット・マイクローブ」より
環境中で感染力を失うまでの期間 室温22度、湿度約65%

印刷紙、ティッシュペーパー 3時間
加工木材、布 2日
ガラス、紙幣 4日
ステンレス、プラスチック 7日
サージカルマスクの外側表面 7日以上

トイレは非常に危険

「ダイヤモンド・プリンセス」では一番多かったのは浴室内のトイレ床で長期に生存していた

人の皮膚の表面での生存期間(京都府立医科大広瀬亮平助教研究グループ)

皮膚の表面に塗布

新型コロナウイルス 約9時間生存、活動継続

でインフルエンザA型のウイルス 約1・8時間生存、活動継続

いずれも一般的な消毒液と同じ濃度のエタノールに浸したところ、15秒間で完全に不活性化した。

生存環境として良好なステンレススチールや耐熱ガラス、プラスチックの表面上
生存期間は新型コロナは約58～85時間
インフルエンザは約6～11時間

温度の影響 培養液中のウイルスの感染力

気温4度 14日後までほとんど変化しなかった

22度 14日後、37度 2日後、56度 30分後、70度 5分後にそれぞれ
感染力を失う

註 必ずしも「触れるところ全てを消毒」の必要はなく、湿式清掃(ふき取り)でも十分効果があることは他の事例で証明されています。ただしそのふき取りをした布巾などを界面活性剤や洗剤で十分洗浄することが必要。

・またコロナウイルスは亜熱帯程度の気温やクーラーのあるような環境では
気温による死滅は期待できません。但し、洗濯後の乾燥器はかなり有効かもしれませぬ

・微生物全般に湿度が長期に保たれるところでは生存が長引きます

銅の殺菌効果 2020年3月の米国立保健研究所(NIH)

銅の表面に付着したコロナウイルスは4時間後までに死滅

国内メーカー第一精工舎(銅を混ぜたプラスチック素材、フラPPER作成)

電車のつり革、買い物カートの取っ手のカバー、銀行向け小銭トレイ

他のメーカー 銅繊維を編み込んだマスク

2014年に開院した北里大学新病院 病棟などのドアノブに銅合金素材採用

紫外線の殺菌・殺ウイルス効果

非常に強力です。ただ人体への悪影響も大きく人体への直接照射を伴う照射は認められていません。空気清浄器やエアコンの内部でウイルスを殺滅して空気を循環させる方法が検討されています

柿渋(柿タンニン)のウイルスへの効果

2020/9/16 朝日新聞 奈良県立医科大学の研究

実験装置内で唾液、ウイルス、柿渋を混

→感染力を持つウイルス数 1万分の1以下に減少

柿渋の濃度が重要、一定以下に希釈すると効果なくなる

詳細は不明

柿渋の効果は大きく予防薬として市販化される(別掲 20)

消毒薬の効果

手指:市販の多くの消毒薬が有効です。80%エタノール(70%でも有効とする意見あり)、塩化ベンザルコニウム、グルコン酸クロルヘキシジン、ヨード剤などすべて有効

手指に関しては洗浄が有効であり安全です。消毒剤は臨時の代用です

環境:次亜塩素酸ナトリウム(金属腐食性あり、有機物がついていると効果減)

衣類 0.1%液 30分浸潤、食器水洗い後 0.02%5分以上浸潤

註 必ずしも殺菌を目指す必要はなく石鹼により洗浄と十分なすすぎで感染を防ぐことが可能です

次亜塩素水には同様の効果はみとめられていません

次亜塩素酸の噴霧は健康上すすめられていません

家庭用洗剤:界面活性剤を有する洗剤は食器にも家庭環境にも有効です

(有効性が確認された界面活性剤と濃度 経済産業省 5月22日)

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム(0.1%以上)

アルキルグリコシド(0.1%以上)

アルキルアミンオキシド(0.05%以上)

塩化ベンザルコニウム(0.05%以上)

ポリオキシエチレンアルキルエーテル(0.2%以上)

製品の成分名を確認して使用してください